

# ほけんだより

令和7年3月6日  
感染症予防号  
林田小学校 保健室

## ひやくにちぜき は や 「百日咳」が流行っています！

林田小学校では、2月中旬から百日咳にかかる人が増えてきました。百日咳は感染力が強く、**出席停止の感染症**です。

児童生徒は予防接種をしている人がほとんどのため、多くは軽症で済みますが、新生児や乳児がかかると呼吸ができなくなる発作（無呼吸発作）が起こり、命に関わることもあります。

咳がある人は早めに病院へ行き、適切な治療を受けましょう。

病原体	百日咳菌
出席停止期間	<b>特有の咳が消失するまで。または5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで出席停止とする。</b>
潜伏期間	主に7～10日 ※潜伏期間が長いので、気づかぬうちに感染が広がってしまいます。
感染経路	<b>飛沫感染</b> 感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に、口や鼻から病原体が含まれた小さな水滴が放出され、それを近くにいる人が吸い込むことで感染する。  <b>接触感染</b> 感染している人との接触や、汚染された物との接触により感染する。 
症状	連続して止まらない咳が特徴。咳が長く続く。 発熱することは少ない。 夜間に咳がひどくなり、咳のために眠れないこともある。

学校において予防すべき感染症の解説（令和5年度改訂）日本学校保健会 より

## うつらない・うつさないために

- 咳がある人は病院を受診しましょう。放置すると重症化する恐れがあります。
- 特に、小さなお子様（4種混合ワクチン未接種）にうつると重症化し、呼吸困難などを起こす可能性があります。
- 手洗いやマスク、換気など基本の感染対策をしっかりとしましょう。
- 咳が出るときは、無理せず休むようにしましょう。



※「百日咳」と診断された場合は学校までご連絡ください。

学校保健安全法で、二類感染症に指定されており、出席停止の感染症です。